## 詩 毛 剪 果 同 辨

下 ころした 一一 No. of Contract of 詩毛 說者不 固宜之 五德之帝五德布爲五行助天生物王者尊事禮 義毛鄭分述之詳矣毛鄭異同大義有四隨文 羣經義疏詩禮最精然周禮之學杜氏及 有吳同而買公彥祗疏後鄉諸家從略不如詩 三也周公辟居四也 鄭異同辨卷上 周颈我將傳將大 與馬唇期一 也出封加等 ままずらいる はまちあんだいべつ だれば、けなりてい 也是毛以 四端皆毛長於鄭至於 一帝詩有明文五 南海曾釗著 / 我將我享為 一也稷契之 鄭時 易

周南 CALL TO SELECT THE WASTERS OF THE CALL THE CALL THE SELECTION OF THE CALL T 官是也傅知然者以其淑 顧惟謭陋未敢屬稿間有穴見記於別紙涉 說與鄭異豈不誣耶? 家隨時寬易凡 正義亦有未達 睢首章窈窕淑 心懼難識別遂 **拿明堂五帝徧** 所居之宫形狀 訓假借傳例簡與箋所改讀非盡 一個管粗粽 先我得者姚復刪去積有 女傅窈窕幽陽也正義[ 都而錄之為一 孔氏述毛不得其理术 而正義云毛 為善稱則窈窕宜為 窈窕然故笺言幽問 一學欲踵孫毓吳同評 一卷焉 獵 深

ドネスして としている 或謂之好或謂之窕又日泰晉之間美狀爲窕善心 之幽悶不得升配君子故哀之若以爲所居之宫則 窕非深宫尤可知矣且詩序云哀窈窕謂淑女容德 為窈方言本於賴軒使者彼周南即詩之周南則窈 方言宛美也陳楚周南之間日窕素晉之間凡美色 閉質本雅訓又說文窈深遠山窕深肆極山與窮究 幼山窕閉山幼即窈之省冥亦幽意傳訓窈窕為幽 包突為類說文義多本毛則毛不以為深官可知矣 處故爲幽閉言其幽深而閉靜也。按稱雅釋言其 

O STATE OF THE PARTY OF

「日本の大学」には、これの

涯五 地泉水 吕忧云爾雅異出同流為漢水疑爾雅本文當云歸 爾雅歸異出 見 食当后我 水 也違者歸異之 ·云泉歸異出 四章我 漢字作 異出同流漢後 云水異出流行 飛 同 若 思肥 形 而 又通非非子交邊盧 肥無流 近 與正 易路 哭 謂則無流字 同流 出 间 心 今 多数 合同 本有數 轉寫錯誤 出也 是也河水篇又 水經注洪 句 形儿师 諸句 述 肥之 洞 古 肥 赫為 沾流 嬔

**萨毛尔是讨胜** 之形交者爾雅所謂直不受槍也毒篆文作其一 交積材也象對交之形象形有正有旁此謂象旁視 牆有夾首章中恭之言傳中毒內堂也箋云內毒之 流字不為作解則當時已不從舍人本葢郭本爾雅 實無流字校者據古人義增正義不察引之以證毛 經注引爾雅之義合又郭景純注爾雅亦引此傳 以前矣惟劉熙釋名云所出同所歸異日 叉與毛義別也 **悥謂宫中所構成頑與夫人淫昏之語 針 按說文費** 知歸異出同下增流字則不辭若異出同流連讀 肥泉與水 

方東西石 積故 也而即附之為堂之後楣以北有室有房不取義於平地為女中而也堂之後楣以北有室有房不取義於平地為廷惟堂有益詩日中冓明其為內堂也中內 母義王婦 房室而於堂者言堂而室在其中矣且夫人 交積材所以爲益故从木毒聲之構亦訓爲益古者 コートイラープライ 一黎
宋
廇
形 中背之 之變亦作口 積材時上下村當象東西對形而东陷在 此左 所謂對交也交積材也者交之下積材 言應仍日中毒材構在堂之中雖非中字 在北堂内堂北堂也漢醫文三子梁王 黎交形線樣 象棟形所謂材也 不直 上檐交穩上之交上出者危也 與二 型

者所以爲飾說文祿飾也正本毛義說文用本字 雙頭師古汪祿飾盛服飾也漢書外戚傳祿飾剪定 **非巨水星司 华罗公上** 君子偕老首章象服是宜傳象服尊者所以爲飾箋 **汞亦覆也故黎从汞副笄唯后夫人有之故毛云尊** 之象服脩言飾裝之服耳說文漆从云者副之言覆 **豫盛飾也** 也說文祿飾也廣雅裝祿也急就篇祿飾刻畫無等 此章第三首飾耳忠氏禮說謂象乃豫之省其說是 一一家服訓偷翟殿翟也剑按榆翟殿翟下章始言之 義而解背字與毛同箋以爲對成失之 日首飾據此諸文則象服當斥副笄言 IJ

則可施 飾故也鄭義為長剑按鄭汪玉藻榆狄云榆讀為播 以爲飾不用眞羽孫號云自古衣飾山龍華蟲藻 粉米及周禮六服無言以羽飾衣者羽施於旌旂葢 雉名考爾雅釋鳥鷂鸛為十四雉中二 傳注吉笄以象為之楊士勛疏引此詩為證亦談夫 用省借字耳正義謂以象骨飾服失之僖九年穀梁 人以玉為笄 一章班兮班分其之翟也傳褕翟娲翟羽飾云也正 「鄭汪周禮三翟皆刻繒爲翟雉之形而采畫之 於云裳則否葢附人 不以象也 人身動則卷舒非可以羽

弄巨 足司 华风 饮上 張指日渝襜褕也闕玉藻喪大記並作 為雉名恭談堪從書司馬相如傅曳獨繭之稐裡定 短於渝故謂之 **獨拖塌獨的瓜字皆關之假借關短也影篇注以其 渝其短者自關而西謂之被孤郭景純方言淫俗** 武紀皆冠帻而服婦 不同周禮拘翟關翟既言揄又言翟則揄非卽鶴 日直裾謂之襜褕翟當連篆文输字貳此例 《竊謂毛傳作渝正字周禮 一關和關皆婦人 人衣諸于繡瑚注引方言目襜 H. 加上之衣飾以翟 作揄假借字鄭以揄 **州後漢書光** 

帽嶺此前內 上桅曲者服装碣如 ク迷今共プ 方言開之 **維司程炭 難馬云書** ラ河 不後 之 之族為種故之 也如如服 服 用狂 佛葆志 恭 不下古 其、蔣說正巾幅曲 E 之雕 遺 似文幅剖也而 後間可喻 至 帷之知正 袋直正稿 雅門羽謂綠飾 所 容其則也 與深後衣 也形無榆 正續亦 古 低 板 術 初 制 発 旅 た 旅 服 不前 襜

義也 **寺自州民司件**「父ヒー 定之方中首章定之方中作于楚宫傅定營室也 瑳玉色鮮白以爲展交宜白之證按二章玼兮傳玼 誤也展反宜自禮無明文鄉盡以意說之或接說文 可以形容青赤之翟安見瑳之鮮不可以形容丹縠 **之展乎總之班瑳皆取其鮮絜之貌不必泥白色為** 一作鮮者齊魯之間聲近斯則鮮亦白矣班之 小雅伽葉有兔斯首笺斯白也今俗說斯白 | 后如六服之次展衣宜白 展衣字誤禮記作

非自三若調營室廟必俟土 **僖公二年表王正月諸侯城楚邱衛徙居之時傳雖** 壁遮正四方揆之以日作于楚室傅揆度业度日 鄭又以定中為詠衛文得時按左氏莊二 無文要在正月之後安得至小雪時乃營立官꼐乎 之衛爲狄所滅倉卒遷徙城而封之皆諸侯之力而 水昏正而裁周語營室之中土功其始基以常制言 万中當斤旦中為夏時四月知卷 同三年を見上述した 入以知東西南视定北準極以正南北釗按春秋 一四方箋云定昏中而正謂小雪時其體與東 Contraction of the Contraction 2 - ALD -- 2 力之時非事理疾病 となり しいけんがん なること 章言降觀于桑 一十九年傳

節旦室三度中三統脲劉歆所撰距衛文六百七日 于日水是司件 人关上 非正南北必覛定也巾星改則南覛之星亦攺矣正 南视定者曾楚邱宫厨時定中於南故視以正南北 十年恒星六十九年强华而移一度日躔於恒星亦 六十九年强半而差一度則六百七八十年當逸十 **冷鷲事乃后処親蠶之事其實民間猶未畢也幽七** 月云八月載稿第云綵事畢而麻事與是共證傳云 中矣月合李春蠶事現而此四月以後猶有桑者日 日劉歆時五月節旦室中上推衛文則四月中旦室 三章言訛于桑田則非小雪時甚明三統塚五月之 

衛碩人 讀皆宜同反服日磁今俗語然此言莊姜始來更正 義乃謂經傳未有以定星正南北者故上 衣服於衛近郊鱼按鄉云禮春秋之穟讀皆宜同是 也原本當云訛讀如磁後人傳寫誤讀如為當作 鄭意謂此經之訛與彼磁音讀皆同非以磁易說字 作稅襚通 記時異於傅山用此中鄉難毛失之 正義遂傅會其說云遺吉之衣亦為襚耳釋文說本 三百日をイラー立と and the same of th 心服問大功之葛以有本為秘注稅變 作程亦 章說于農然箋云說當作磁體春秋之碰 作松史記陸賈傅奉百金稅是其 一箋以定爲

The state of the state of **秘說文租也得訓變易者稅脫稅皆从允聲故義** 此詩言姜氏至近郊而變易衣服故目稅于農郊 鯅 在途之褧衣而更衣裥翟故有變易之義 可通左氏成九年傳音侯見鍾儀問之有司對日鄭 四章館舶發發傳館鯉也正義日兩雅釋魚舍人 下背上腹 今江東呼為黃魚陸機云與身形似龍銳頭口在領 所獻楚四也使稅之杜注稅解也此經言解稅其 1在領下體有邪行甲絲鱗肉黃大者長二三 名館郭璞日鯉仝赤鯉魚也館大魚似鱏而 下皆有甲縱廣四尺今於盟津東石 MI 10/11 N - 2 - 2 -

漢訓恭 鯉地 詩毛鄭異同朔、先 蛇館者卿 震傳有冠雀銜三 釣取之大者千餘斤如陸 周頌潛箋館大鯉也 目駁不 **鱣鮥皆吳魚也故郭謁毛傳為誤剑按說文鱣鯉** では、これでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本 輝輝字 出輩欠據 不知其說非矣後儒 郭汪 彼質誤以解為館古館解通 化煙炭蓋真證傳模江 之象也章懷汪云續漢書謝承書願 爾雅已行注水經在在引之此獨 此則漢以前儒者皆訓顧為鯉道 | 館魚飛集講堂前都講取 水經定河水籍引 之言爻以今語唸 乃遵陸郭者以爲得之 爾 湖之 用後漢書楊 雅說日 孤進 2 經期 鱣

裳欲與為宝冢申述毛裳所以配云之義。按笺非 類非館也館大館小共質 傳義也易質裳元吉坤爲紫裳在下爲陰故以無裳 是子無裳無為作裳者欲與為室家正義曰是子無 有机首章之子無裝作之子無至家在下日裳所以 物無宝心之憂矣葢詩人之憂若謂婦人見餓夫之 無爲作裝而憂之欲與爲室家有是理耶及序云有 **观衣也笺云之子是子也時婦人喪其如耦宴而憂** 10 TO 10 TO 10 名解亦狀如蛇鯉郭陸所說 魚正義反以毛為談安

前毛像異同辨味卷 昏嫁之稱而箋云婦人喪其如親寡而憂是謂先為 Charles of the state of the sta 狐刺時也衛之男女失時喪其她耦焉日男女皆未 釋名凡服上日衣下日裳衣為陽粉夫裳為陰喻煽 也著於衣如物之緊帶也無些的言無緊圍山禮女 子許嫁艘鄭涅纓繋有從人之端亦其義三章無服 **処而後錄也與厚乖矣二章無帶阶無夫釋名帶帶** 於水正義日說文云暎熈也易日燥的物者莫姨乎 無服喻男無婦女無夫也故傳云言無室家葢總上 王中谷首章晓其乾矣傳曉蒸貌陸草生於谷中傷 一章意言之立言之次第也 

以娛與娛議同引說文喉燥也又引易作機是其誤 也若受日與火而乾者矣得有發與暴郥正義乃云 疑漠與乾字不照又以與火形近遊觀為模耳正義 田於死而至於乾燥以 モニルを丁字 為水所傷故既乾而其狀於然說文於殘也廚雅泉 也正與詩意合文傳云菸貌凡 而乾為與無燥乾於日與火之義說文與水濡而乾 《詩稱毛氏疑照字毛本如此後或摩滅鳥勿校者 公前也竊謂詩取雅傷於水始則湯中而脩之 · 含 乾也詩日鄉其乾矣說 日貌皆形容之詞雅

Spire

**乾**與始乾之義近耳 脯族說文脯訓肉乾而脂訓乾肉乾肉者肉之已乾 乾者然則肉之人 **注乾肉薄析日** 計三角型后 記祖者且也且可訓為始有草剣粗畧之義周禮 ·首章大車艦艦 遷
天如変傳 乾燥而縮也傳訓爲且乾也者且姑且之 命如子男之服等古者天子 肉之將乾 11/11 日崩捶之而施置桂白般脩脯。 The state of the state of **《乾者為脂始乾者為脩將乾者為** 也脩訓脯 不訓腊者 大四 物

萬鈞即金路之鈎巾車金路鈎獎纓儿就與命上 乘九命之車不必封為諸侯然後加等如鄭說也封 **巡行邦國而決男女之訟則是子男人為大夫者** 者贈界之名出邦畿之外亦為出封序云聽男女之 九命車旗以九為節據此是在朝八命及出為將得 叔在朝以卿士兼三公之任矣而其首章云鉤膺儉 天子之老山禮五官之長自伯汪謂為三公者則方 可巴州基市 华 7 农上 **予出封又|| 云処行邦國其殆|| 一伯之職數毛義** . Pau

也正義 夕深云汪謂大夫士也釋文朝直送反疏謂大 登車則有光矣汪私朝自大夫家之朝又云朝元 早朝在私朝版元端夕服深云在私朝及家據此 **兮是也。做正義非也禮記玉藻云揖私** 服也、箋云鄉云者居私朝之服也天子之 云為卿士聽私朝之服記有明文而正義乃謂國 東京のことのなるとのなるとを軍事を致めるいけれていまっていたとい 元朝服元廷衣與冠同色故謂其衣為納 日此私朝在天子之宫内即 天子官內密矣元端卽緇衣七 章綱云之宜 N. I 下句道子之 士聪朝之 朝輝 朝皮弁服 館 頒 扯

卿士當未朝君之時固先與家臣朝於國門私朝耳 適小駸釋服則君在路寢未嘗釋服玉藻所言雖 政教事在君所斷之不得歸適國門私朝是不 **帅士家之朝言之鄭此箋云緇云居私朝之服隊 誻侯禮天子當亦然矣天子未嘗遠釋皮弁** 注書四門云卿士私朝在國門據此則私朝斷斥 **塱元淌諸侯大夫士也以禮推次天子卿士朝君** 無指在天子官內之理君朝服視朝大夫退然後 皮弁服私朝當用組云光武公於爵伯也入爲周 司徒則聽私朝當用其在國聽朝之服緇云矣鄭 1 4 4 1 1 1 1 1

.....

3.1 星竹爛爛然早於別色時釗按箋云明星尙爛爛然 亦問股明星彼恭言昏以為期者至旦猶未至耳 是斤凡星言與傅小異傅云小星已不見言明星獨 **腐公争闽兵革不息故詩人** 男女失時思不期而會為多按詩譜此爲屬公時 見也耐雅釋天云明星間之啟明孫炎年明星太白 野有意草序思遇時也君之澤不下流民鄉於兵革 也出東方高三合命日明星陳東門之楊明星兩見 **詩毛伽俊同辨** 卷上 **工遐易緇云耶以此知正義之非也己** 一雜鳴首章明星有爛傳言小星已不見也 、思週時週者諸侯未 十己日丑 一 というないとなっている

首章野有喜茸零露溥公傳與也簽蔓草而有露謂 所詠者是也序云君之澤不下流君即所美之人恭 能藉其力以定亂厲公又自櫟人兵革紛起故思遊 仲春之時草始生霜爲露也 期而相見也效春秋莊公四年夏齊侯陳侯鄭伯遇 逅有美之一人以慰安厭亂之願而相偕於善道詩 於西穀梁傳苑皆集解云傳例不期而會日週週者 思週時之故也鄭乃以爲思得男女會合之時失之 **斥當時牧伯叉云民窮於兵革男女失時則原所以** 志相得也然則子儀君鄭時嘗與大國會週矣但不 一周禮仲春之月會男女 į i . 

The second second

龍子 之滋衰草長草而得蔓延者路之潤飢國而 當是與伯者之澤族伯救患分炭以存亂國絕零露 以與民所以得蕃島由君有恩澤之化養育之分到 者伯之澤也左傳襄公二十七年鄭伯享趙 按此述毛皆王義恐非毛旨也竊謂傅以零露為與 子於郊子醬亦賦野有蔓草則是詩非言男 無夫家。正義日毛以爲郊外野中有延蔓之草草 叔賦野有蔓草昭公十六年夏鄭六 The state of the state of the 延蔓者由天有隕落之露溽溽然潤之今 介先 得安定 孟於垂

野田草露不期而會合者哉正義本王義以述毛往 遇也若指爲男女之辭雖淫者亦必約而後成安有 首服之以從王祭祀編列髮為之服之以告桑次次 服又追師掌王后之首服爲副編次汪云副所以覆 而已凡諸侯夫人於其國云服與王后同如鄭此 弟髮長短爲之服之以見王王后之燕居亦繩笲總 **麥雞鳴二章東方明炙傳東方明則夫 在如此或據以咎毛斯不然矣** 正義日、天官內司服鄭汪差次服之所用翰云黃桑 所服展表以禮見王及賓客之服禄表御於王上 上口——— 八繩弁而朝

おんちょう ままんしていていた はると とまれにいるで いままたし

The Part of the Pa

據此二文孔亦知毛說非鑿空則不必强周 祭服視王后降等則初服 十四年公羊傳何休注鳴雞纓子而朝對亞之禮 服次燕居乃服繩笄耳 **配能不失職其卒章被之僮僮笺云被**即 不破毛義也 方 云 妻 事 表 平 見 郷 弁 而 朝 則 有 君 臣 之 嚴 此 。 人於其國祭服不與王后 后同此鄭君注禮之說耳詩采蘩序夫 人以禮 正義引列女傳魯師氏之母齊美戒其 見君當服展 釗按諸侯夫 亦當降等此笺無說葢 同服副鄭已 於君當 服務 於其國 小用前說矣 公也是夫 STATE OF THE PARTY OF 一春祭 **衣服** 

同詩矣 著首章侯我於著乎而箋云待我於著謂從君 之之時也。一一後劉向列女貞順傳云孝公親迎孟姬 於其父母三顧而出親迎之綏又士昏禮序婦從降 **撬明女家引出之時亦毎門而揖,故知至著君子揖** 行可知矣何由揖於者庭耶况揖讓之禮皆貧主共 出至於著君子揖之時也正義日昏醴婦至夫家主 八揖婦以入及寢門揖入至夫家引入之時毎門而 一西階在壻降之後葬此一 ·昏禮親迎時女父爲王· 一文則壻先出不與婦並 一壻門而

意本陳親迎之禮以刺時而不言引出者舉引 詩毛鄭異同辨《卷上 互見也 授婦綏之時惟有曲顧之禮而已道升車之儀且慰 韓奕韓侯顧之爛其盈門箋顧之曲顧逍儀也是壻 為三人才降送婦叉無賓其夫之理故無與為揖也 後壻稱王人 南山首章南山 云至於著君子揖之謂婦至揖入之禮先言著次 而不揖降階至門亦道婦之事又安得有揖取此箋 、壻自升堂至降出並不 **尘言揖者恭女** 是高大也國 詩

Character Fact Township of 當即妻今襄公兄與妹淫亦失陰陽之匹。檢此傅文 **申毛非毛旨也毛以南山喻高位雄狐喻淫行言君** 義毛以爲南山雄狐各自爲阶言南山高大崔崔然 年三月長月 年 りゃこ 無狐在山 配雌理亦當然也全一雄無別失陰陽之匹以喻夫 以阶國君之位質高如山 之匹箋雄狐行求匹枫於南山之上形貌殺綏然正 嚴如南山崔崔然雄狐相隨緩緩然無別失 承與鄭云狐在山上僻別而義不別也孔 之意則各自為喻異於鄭也 |崔崔然||而准行如雄狐綏綏終意本 ある できれた 也雄狐相隨綏綏然雄當 也釗按正義 

亦稱雄戰國策學伏雌又 考左氏信 雄 為君其義欲以 去之餘獲其雄 狐爲 狐蟲必其君也聚公淫其妹 隨阶 、粉惠 狐夫狐鹽必其君也 皆以 公共象 云其卦遇 節獲其雄 未胤 杜注云以 易文與氏場 7 當與雌 否艮 乘 為 显

,

無禮義端端謂頭絡也匈按戰國策敢端其願注端 載驅齊 隨之理末學所及豈毛公博物而反味此哉 口吳姓則異德異德則異類今齊襄淫於其妹非別 爲句非生下之餘是以箋特釋之無禮義故銜 雄相隨恐非傳義也夫狐必牝牡相從無一 いていたというと 3附遠厚別也別者別其類之謂晋語司公季 、都與文姜淫播其惡於萬民焉箋云故獨端 「諸言故者多是因上文以生下事此故乃 日無別失陰陽之匹正義述毛乃謂雄狐爲 (刺襄公也無禮義改盛其車服疾驅於通 一雄相 與 ١

1

Harmon Spine 1' or the

使為之也此序云故盛其車服猶言故使為盛其重 引徐廣日率音刷司馬索隱云率亦作選請望之傳 最上 服矣孔云與上爲句失之 舒讀為刷然則率選舒讀皆同矣讀同 符嗟三章舞則選る傅選齊也箋云選者謂於偷等 於樂節也。按史記周本紀百率五百率千來集解 **金里尼班** 正義且傳選之為齊其訓亦問當謂其善無添 選音刷周禮考工記冶氏定鄭司農云 **公中聲孟展云舟等庫垣也引前** The state of the s 1000 則可过假路 A THE PARTY

等倫若在齊則倫等者齊侯也箋最上之云恐非潛 大きのかっている とおとるい 唐椒聊首章碩大無朋傳朋比也箋云無朋平均木 朋黨。由按揚之水及此詩序皆刺昭公之詩揚之水 此則舞以齊樂節爲善毛質本荀義矣桓君也誰與 樂論云曷以知舞之意曰目不自見耳不自聞也然 要鐘鼓俯會之節而靡有諄逆者果積意講講乎 義就於條傳訓選為齊益謂選即埒之假借與荀子 而始俯仰詘信進退遲速莫不廉制盡筋骨之力以 、所當言矣毛義爲長 **《韓媽集解引徐廣目埒等也等與齊同** 

此言桓叔能修國政撫民平均望桓 號申毛駁鄭云桓叔阻邑不臣以孽傾宗與潛父比。 至殺昭侯而求人焉能均平而不朋黨乎正義駁 云聞命者葢著沃以善政結民也而昭 それではないと、からは母母人の母は、これにして、これに、これにしていますがられた 一惡耳不得以傾宗阻邑爲桓 (言其有朋類以刺昭公之昏耳豈真美曲沃哉 一章並云從子者葢著國 **〈何得稱其碩大且篤能修其政巩** 自是鄰國 叔於的沃非有天子之命則桓叔 八將叛而歸沃 权罪也即 叔之美刺 j 小知故詩 八也末

也又爲發聲詩無念爾祖傳無念念也此詩云碩大 等朋古文鳳字一 手二小型可弁したと 無明無當是言間猶言碩大又朋耳朋正斥潘父之 與篤爲兩事此云碩大無別如孫言是碩大 傳兩尊日朋錫我百끼三壽作朋俱無傅則毛解朋 字取兩物相從之意可知下章云碩大且篤是碩大 晉臣耳而行私恩以邀民心陰有篡晉之志不臣孰 無比例也讀比為必履反亦非毛旨知者朋酒斯饗 意文法亦不配竊謂無為辭問爾雅釋計無問 一義以爲鄰國相陵斯不然矣然鍼云無朋者 飛而羣從詩人言此正以見桓叔 人與無別

a personal programme and

American Service Comment

義引白虎通諸侯病曰覓子公羊 **兹聲義本通此傳以子為茲繪禮記之以子為慈名** 高月數學信 一氏經義述聞謂嗟兹卽嗟嗞其義最確先 MANAGEMENT OF THE PARTY OF 如字毛則讀爲茲易箕子趙賓讀作荄兹曲禮正 | 義日茲此也嗟歎此身不得見良 首章子兮子兮傳子兮者嗟 有竣字故傳直以兹為竣也正義訓為 多刺昭公之了 公字與鄭同 不知也 茲也等子兮斥 解詁 作資茲則了 行茲字 取

**菁菁清清為茂貌但不取葉爲興耳。由按此詩質** 于**巴**斯吳可萨 爾安上 菜盛為與葉骱曲沃也左傳桓公二年師服日 而得為稀少貌者以葉茂則同為 以阶宗族雖强不相親睢也箋以此刺不親宗族不 **清與菁菁皆茂盛之貌傳於此云滑清枝葉不相比** 宜以盛爲阶故下章易傳以詩詩爲稀少之貌此章 **卜章言菁菁集盛互相明耳言葉雕茂盛而枝條稀** 取不相比次為粉不取葉盛為粉菁菁質是茂盛 不相比也正義日裳裳者華亦云其葉滑及則滑 (菁菁者莪菁菁為莪之茂貌則知鄭意亦) -----色山稀少故見

こうしょうしょうしょう いくていかいかん まっという しゅうしゅうしゅうしゅうしゅう

さいちょうかん かんしょう かんかん かんかんない かんかんかい かんしょうしょう かんしゅん こうしょうしょう **清清之謂乎** 非言葉稀 國家之立也本 者我是盛貌此云稀少 大矣而其樹 此特生之杜不見其本幹 本 苦苦若我是為美辭 而本幹之 未 强盛而咏共葉 一知者詩云共葉語等則葉之茂盛 大弛必生心又日末 下章能菁菁稿 )稀弱詩末有 林焉孤生 / 貌者莪草也 E 所 以能 · 而但 明文故鄭言稀 少之貌當調本 鍋 路為本 見其葉云爾等等 固。 今杜 無取於强幹故 必折始即 A. 18. The state of the state of | 

言月文多下字

专目的是可称 及上 之意也。一一按正義殆因蟲監聲近又皆下从即故爲 為不練之鹽故天官鹽人云凡齊事響鹽幣即練也 與義同。昭元年左傳於文血 蟲為 **蠱縠之飛亦為**蟲 此說耳然監从鹽省古聲說文有明文不从皿也監 然則蟲害器敗殼皆謂之蟲是鹽為不攻牢不堅級 鵠羽首章王事歷監傅盛不攻級也正義監與蟲字 宜以盛為粉故易條以善善為稀少之貌下又謂鄭 亦以菁菁楈湑為茂但不取葉為與非鄭意矣 以解害意之例也正義乃謂箋以此刺不親宗族不 )茂盛顯幹之稀少故鄭申毛白稀少貌此說詩不 The was a way to the way of the party of a second read was a contract to the second of 本通說文伊尹殷聖人阿衡也伊本非發聲之用 不攻級亦不練之意也揚子方言鹽且 鹽不練謂之鹽引申之故物不攻緞者亦謂之鹽恭 與驗義同未聞 創始粗畧之義是又因不攻級而引申之典婦功 其苦良汪云鄭司農武者為鹽則鹽可通苦正義謂 雅毛傳訓維意以伊為紫之假故箋申之云當作緊 年緊伯舅是頓杜汪云緊發聲據此則伊緊一 是也釗按傅本釋詁彼郭汪云發語辦左傅襲十 秦蒹葭首章所謂伊人傅伊維也箋伊當作緊緊猶 The second secon 一也且始也有 一字義 辨

織正義日鄉於周禮之汪差次章色 做皆在裳言版 終南二章徽交繡裳傳黑與青謂之椒五色備謂之 左放以右為迂迴迂迴者言相違也迴與違通 道益用王崩之說毛不其然 衣者衣 大名與繡裳異其文矣 對按毛無機在裳之 正義以爲易傳談矣正義申毛云所謂維是得人 到按正義非也三百篇豈有趁韻之句乎葢周人份 在言其迂迴出其左亦迂迴言右取其與涘沚為龍 **灭鄭汪周禮葢本虞書備聯** 一章道阻且右箋云右者言其迂迴也正義曰箋云 ころもりなり **S希娜及黼黻二文告从** +==

矣解 後借 可畫耶月 之文 五章之 則非術練 Court and several to the serve of the several serve of the second **免 謂 之 黻 冤 直 乐 天 則 謂 主** 被衣即衮云爾雅釋言衮微也注發云有做之五句云此言刺繍采所川緣以為裳竊恐未以 五角五采鏡是緒字本 訓不為荷刺之用也 舌今字 一程名散冤散秩也畫敝秩文采於云也恭云刚 記 F 是緘 合命婦官染采黼黻文章必以法故曰染 然宗發在處為六章而鄭說周制 可知矣考工記畫緝之事黑與清鹝之 ジー 先」 鄭注論語繪畫文則非必術繍又可 五米備調之繞說文解練字取之 於裳者亦可畫於云矣安在 一個一天論語致美平版 **海滨滨湖北未然** 等工記青山赤湖 一件柳之川也以 人解繍字 IV 之 繪 一機獨 ~做

在者吞雖大名然對文則異經云微不作數一據此則畫版於衣自夏已 乃游刺之鼓又从徜作敞而云不畫斯 注周 禮以為做在裝恐非傳旨使能 又云繡裳且傳訓繡爲五色備使黻 衣繡在裝從 色皆繡文所有何得别為黻稱耶黻 晨風 以長し許良を二 是祭服之 衮衣有做文者或以攘戎之功天子赐 一章隰有六駁龍 可知此訓詁省繁之例 也正義乃據鄭 表創裳下 同在裳則黑青 **承**畫 今按釋文出以敬為蔽膝 小然矣泰伯

乃引釋獸 Control of the Party of the Par 一章山 鄭答鵻鳥靑非草名敬 以較馬釋駁 一次的 雕箋以蒸為勸張逸疑其 łi 正義 拔拨 如駮馬故 後

前諸儒皆以 **云本或** 常棣棣恭爲之 郭與司姓,然长上 之疑 移為常樣棣為唐棣 談 <del>is</del> 即 何 華傳常棣林也此 被機矣傳唐棣核 小雅常棣之 毛傳 固 氏據 管葵 本爾雅 山計 引選定 為棣 詩考

按毛意本與鄭同鄉恭申毛非易毛也釋近身交 汗澤故名禪傳云澗澤解云之所由名鄭云褻云雜 正義日箋以上 とうしまる サイヤンス・ストン・アント 一袍下裳則此亦云名故易傳為禪釗 1. 1. 1. 1. 1. するためであっても かっこう

讀如數晉之數鬷緩與數聲並近趙岐孟子注數晉 裳乃朝服之裳於喪服無涉除成喪之祭朝服稿 者祥祭雖用朝服而稱冠仍未純吉故祥祭之 密網也以密釋數則此詩殿邁傳訓數行亦謂密比 チュアを丁中 **檜素冠二章庶見素云偽傳素冠故素云也箋云除** 素一天者謂素裳也。按一天是大名裳亦可称天但素 成要者其祭也朝服編冠朝服縮·**夜素裳然則此言** 而行矣箋鬷總也從男女會合總則鬷緞之正字合 行削密比之意毛鄭義同 数岩據此則毛以殺數為 此傳訓殿為數基 基 冠

追賀君臣完已無日如渠各然正義日序云任小 故云其羣臣皆小人 曹蜉蝣首章蜉蝣之羽云裳楚楚慈笺云與者阶昭 之朝其羣臣皆小人 **麻衣為白云當卽此詩之素云矣** 毋麻一天注引詩麻云如雪如雪者言其白也據此則 於吉服在編冠辨之若止言素裳於朝服何别耶竊 是其學了作用 升布深一天也純用布無采飾又喪服記云公子爲其 **謂素衣即麻衣閒傳云大衅素綿麻衣/注麻|衣十五** 他徒整飾其衣裳不知國之將 他何則卒達歴衣調證侯之身 、耳其實此言云裳螳螂亦刺 ļ 4

刺奢也又云好奢而任小人 日視朝而直日朝朝服為大夫朝君之服則深云謂 大夫夕服可知矣玉藻云夕深云祭半肉朝禮君臣 侯之身也玉藻云朝服而朝正義日朝服緇云素裳 而朝謂每日朝君據此則箋所謂朝亦謂朝君故不 **天如雪笺云諸侯之朝朝服朝夕深云不曰諸侯而** 小人之辭箋義可謂確矣正義乃據卒章麻云為梁 日諸侯之朝是謂諸侯之朝廷言在朝之臣非言諸 **云拔玉璇夕深云之文以中鄭義非也鄭於三章麻** 服深表則知此章衣裳亦有君之衣裳。按序云 (則三章上二句皆為刺

詩毛鄭星同姓民 卷上 **征削斥克殷踐奄之事三年謂** 公東征 注云或曰詩序三年而歸此<u>言居</u>來一年其錯何也 日書言其罪人 肅此釋未得其理與羯序云周公数鄒也書傳云周 家也此箋深交正義何所見必為諸侯耶正義以為 諸侯之夕服殆談讀箋諸侯之朝句耳 **幽譜正義日東征箕三年金縢||三一年者王淵於彼** 同服君夕迩茲則大夫士夕君亦迩衣不特私卽及 というというとはなるので、あたのでいるとうとなっているというできないというかっというというとはなるとは、これではいるできないと 三年破斧四國是皇傅云四國商奄也則東 年报亂一年克殷三年踐心東山序云 、斯得之年詩言共聞之年也到按干 年救亂 周

居之義故毛讀辟爲辟剑按正義以鴟鴞傳證毛無 **居東都正義日案鴟鴞之傳言郭亡** 由致王業之艱難也簽云周公遭變者管蔡流言辟 則踐確者成王在師矣金縢弟記周公居東不及 王肅書汪說詩失之 7月陳王業也周公 年踐奄也但 一年東山并踐在數之故統云三年也正義用 讀辟爲辟則未然耳 號詞 變故陳后稷先公風化之所 冢云周公乃 一子則毛無避 幽新正

こうことには、これにはなるないとのできるないというないとなっているとのできます。 これのできない かんしゅうしょう こうしゅうこう 从覍周青日亦未放消公彼所稱書亦壁中古文 周書日郎昭猗無他技言部譙重交討解云古交 當為去之談後人因上辟法也遂涉而加水旁 文書称古文辟部壁引我之不肄法也族今滕 經如段氏之說按斤部簡重文的解云古文節从 百月祭之下书 一名 者碎法也如劈亦訓法則聲當為辟之重文注云 用書古文說讀辟爲辟去之辟故故多據 文群从并矣即謂肄者壁中古交別出此篆文以 太公笔召公奭日我之所以弗辟而攝行政者恐 下畔周無以告我先王太王主季交王猴此則史 文 图 說問 文程 領 法 記 Ü 知 說

辟位 寺山1127 F 12 25 L **肄业益反**。金 除釋 傳云革去故也故葬从并其義爲去辟 法也質爲去字之譏可無疑矣但 **从井得有去義者易序卦傳云井道** 與時為 請之降除與攘 同訓法 亦反音既不同則義亦吳此雄子 炎益 證山葬此一 之辟夙毗 雅城立時釋 與辟 入治正作 井以不變為義蜂 一證被釋文明幹 與必 可不革雜 肝育 · 太婦亦! 川州義 卦 反

言目的分下方 辟也。 義排東晉古交說毛失之 、這朋酒斯經停變者鄉 艘 月民事男女俱畢無飢寒之憂國君別於政事 以羔羊箋以廢彼公堂是升君之堂萬 假借也毛詩本古文 則避是邪僻之正字解此為逡遁之義收壞宝 and the state of the state of the state of 省 故言經禮者鄉 正義日傳以掃場是農 它 旧府非辟去之用蒼頡衛班去也音別經 山殿回 也 《飲酒山 人以狗犬夫加 談論所辟當與史記 ... 人之事川 狗為生大夫 The property of 透傳闻邪 以羔箋 浙磐是 也 與調 湿 市

诗已邻是 可栓 图 长 爲國君別於政事而輕差臣也到按正義輕傳笺皆 是殿君之餘又鄉飲酒之禮用狗不 季冬國君飲羣臣於學亦正齒位故依鄉飲酒禮行 **狗言之者明此飲天夫與飲鄉人之禮同但加以羔** 有三冬蜡醬正屬民飲酒於序以正齒位其 中鄭謂躋彼公堂是升君之堂則談也傳云經者卿 人以狗大夫加以羔是言餐用鄉飲酒之禮鄉飲酒 非也箋下云於饗而正齒位正齒位必於學則鄭解 乙傳云飲大夫加以羔則飲羣臣之事其挾卿人 公堂與毛同矣正義下云公堂謂之大學得之而此 一元 一也此

鴻揚周 用鄉飲酒禮毛鄭義同 欲攝政之 飲酒醴代之 加以羔之說也儀禮鄉飲酒 大飲孫

注大飲其禮

亡今天子以蔣禮郡 A COMPANY OF THE PARTY OF THE P 非 公殺亂也成王末知周 小攝故以未 全我先王鄭讀辟為避 意正義日 如正義所云卿 日鴟鴞焉笺云未知周公之 剛 原諸侯之 知周公士 金縢云 grand the second ) 禮亦漢之 無羔毛 自飲有大 周 志謂未 公之志公乃 乃告 以居東為避居於 これの ライル できる **夫**來 志者未知其 國也故大 = 公 周公恐 人為詩以 知 日我 國 以 肌 則

欲攝也鄭此義皆與史記同但史記言周公未嘗辟 之而不致於成玉非謂武王崩時未攝至除喪後始 古文說周公攝政在武王崩之明年矣敬之箋云周 者恐天下畔周無以告我先王太王王季文王三王 管叔及其羣弟流言於國日周公將不 以成周我所以爲之若此於是卒相成玉據此則書 公始有居禰之志居攝者當謂前時已攝至此婚居 之疑勞天下人矣於今而後成武王蚤終成王少將 公乃告太公望召公奭日我之所以弗辟而攝行政 問武王崩而畔周公乃踐祚代成王攝行政當 ころととは、日ののこ 、利於成玉周

網鮹魴大魚也箋云設九段之網乃後 以爲周 九段首章九段之魚鰤魴傅與也九段殺 **居鄭則以周公辟居**二 周公居街 網恒 物各有器也鱼按韓詩九战取蝦芘也別九段 流 公攝政改稱元年誖理實甚不可不辨 言而避去王親迎歸復攝與史記小異耳 一個雅總督謂之 囊地糉本或作總說文總束聚也 年救亂此言居攝始為之事正義 一年是鄭意武王崩時 網孟子謂之 九战孫炎江九战 得鱒魴之 晋小魚之 

子二月三月十二八日二 以見周公下云我觀之子衮云繡裳則言共禮之盛 **魚鼈者也魚雕傳古者庶人不數母呂必四寸然後 世笺云設九段乃後** 、澤梁故傳以緵罟小網不 為船失之 一種工程被互換的工作和之網所以指小 伊鱒鲇言有網然後得魚不取 能得大魚與小禮不可

